2018年1月27日

見よ、わたしは新しい天と新しい地を 創造する。初めからのことを思い起こす 者はない。それはだれの心にも上ること

はない。代々とこしえに喜び楽しみ、喜

び躍れ。わたしは創造する。見よ、わた しはエルサレムを喜び躍るものとして、 その民を喜び楽しむものとして、創造す る。わたしはエルサレムを喜びとし、わ たしの民を楽しみとする。泣く声、叫ぶ 声は、再びその中に響くことがない。そ こには、もはや若死にする者も年老いて 長寿を満たさない者もなくなる。百歳で 死ぬ者は若者とされ百歳に達しない者は 呪われた者とされる。彼らは家を建てて 住み、ぶどうを植えてその実を食べる。 彼らが建てたものに他国人が住むことは なく、彼らが植えたものを他国人が食べ ることもない。わたしの民の一生は木の 一生のようになり、わたしに選ばれた者 らは彼らの手の業にまさって長らえる。 彼らは無駄に労することなく、生まれた 子を死の恐怖に渡すこともない。彼らは、

その子孫も共に主に祝福された者の一族 となる。彼らが呼びかけるより先に、わ たしは答え、まだ語りかけている間に、

聞き届ける。狼と小羊は共に草をはみ獅 子は牛のようにわらを食べ、蛇は塵を食

べ物とし、わたしの聖なる山のどこにお

いても害することも滅ぼすこともない、

《イザヤ書 65 章 17 ~ 25 節》

と主は言われる。

定 価 1部144円(本体133円〒共206円) 1年分 〒共 紙代のみ 3,600円 振替 00140-9-145275 本紙を購読で希望の方は、前金を そえて、お近くのキリスト教書店 へお申し込み下さい。 教会の購読料は負担金に含みます。

発行所 日本基督教団 169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18 日本キリスト教会館内 FAX03(3207)3918 URL http://uccj.org

> 発行人 道 家 紀 編集主筆 渡 邊 義 彦 印刷所 株式会社きかんし

> > メッセージ

新

ザヤ書

65

章

17

S 25

節



越谷教会 2018 年新年礼拝

みが始まった。

2018年の新し

い歩

萠

れに

沈む民

神

の怒り

65・17)との御言葉が示

の言葉が響きわたる。

「わたしは創造する。見

として、

創造する」(同18

その民を喜び楽しむもの

わたしはエルサレム

節)。

新しい年に「見よ、

しは新しい天と新し

の崩れに沈む民に、希望

を喜び躍るものとして、

新しい天と地、そして、

された。崩れて行く、こ

を受けて参加し、その礼 ポジウムがカトリック浦 会共同開催の宗教改革 5 日本カトリック司教協議 日本福音ルーテル教会と 特に「『長崎の声』-苦 **教会で開催され、招待** 0周年記念礼拝とシン 17年11月23 協議会の発 旦 音のみ」ならば、 がらユーモアたっぷりに の銘柄を連想させな

れ の 奥底に横たわる主イエスの死

福音

崩

ックは「福音化」だ。「信 た。プロテスタントが「福 中町教会主任司祭の言葉 に魅せられ深く教えられ 橋本勲カトリック をと、 ぎた教会の現状を眺め、 語った。 りに人工添加物が付き過 状(免罪符)など、あま という主張をもって贖宥 イエス・キリストへの 「ルターも『聖書のみ』

れる。これらの言葉を頼 化を目指したものと思わ えば、「浦上四番崩れ」と 化の実態に迫ってみた づくりにつながる」と述 い。それがすなわち平和 時」として語られる。 崩れの時は福音の純化 、浦上崩れの話をした。 カトリックで崩れと言

別に強調されている。崩 そして「四番崩れ」は特 三番崩れ」と呼ばれる。 弾圧を受ける。弾圧は「浦 上一番崩れ、二番崩れ、 浦上キリシタンは3度の 村はキリシタンの村だ。 して知られている。浦上

おいては信仰を鮮明にし では信仰を隠していた。 しかし、浦上四番崩れに 多数の殉教者が出た。 なくなった。それで、激 スト者であることを隠さ 上五番崩れ」として話さ 自に葬儀をしたり、キリ 仰を隠して隠れキリシタ するか」の決断を迫られ ンとして生きるか、棄教 ト者は「殉教するか、信 しい弾圧があり、キリス そして、長崎原爆を「浦

0 純化 崩れすなわち福音

れが福音の純化をもたら したからだ。三番崩れま

れた。 | て檀家寺から離れて、独

崩 れ の 極限 で、 神 0 愛が燃え がる

楽しんでくださる。だか げる主の民を「主は喜び

をいただいて、礼拝を捧

ら。喜び踊れ」との御言

2828282828282828282828282828282828

の歴史を踏まえて」

爆を扱った小説のタイト あるかもしれないが」と ではない。長崎原爆はキ リスト教の視点で見なけ ルを「長崎五番崩れ」と した。永見はキリスト者 作家永見津平は長崎原 シタン村である浦上に は理解できないと言っ 橋本司祭は「異論も ストの死をイメージ うになった。『崩れ』の究 へと搾り信仰を純化す る。キリスト、この一点 復活の希望へとつなが 死、この極限の崩れは、 極的奥底にイエス・キリ の極限として見つめるよ 壊を五番崩れとして崩れ 破壊された。 メートルのところにあり 原爆投下地点から500 凄まじい ストの十字架が示され、 指し示された」と語った。 十字架は復活の希望を指 罪の極限で、キリストの 界に和解と平和と希望が 十字架の愛が爆発し、世 崩れの極限においてキリ 社会の崩れをも意味し、 し示す。原爆が爆発した 原爆は崩れの極限であ 原爆の凄まじさは、 り、社会の崩れの極限で

された天地」につながる。 がるところで、キリスト ある。神の怒りが燃え上 会の礼拝は「新しく創造 新しい人間」が創造され ださる人」の創造だ。教 る。「神が喜び楽しんでく 神の愛が燃え上がって、 の十字架と復活によって 新しい天と地、そして 同記念集会」では、ルタ り組みたい。 を指し示す伝道の業に取 仰が純化されて真の希望 架と復活、ただ一点に信 ていた。主イエスの十字 は希望である」と示され 葉が新しい年に響く。 -の「この世を動かす力 宗教改革500年共

(第40教団総会議長·

越谷教会牧師

人間の創造の主の言葉が

31)。神が造られた極めて て良かった」(創世記1・ った。見よ、それは極め すべてのものを御覧にな 良い世界は、崩され続け 「神はお造りになった が燃え上がる歴史を重ね 史は、神への信仰が崩れ 続け、最後には神の怒り

石橋秀雄

てきた。 む民」ではなく、最後に の歴史は、「神が喜び楽し 旧約聖書の示す主の民

新しい人間の創造の御業 崩れの極限で神の愛が燃 え上がり、新しい世界と 神の怒りが燃え上がる

は「主の怒りが燃え上が る」罪の歴史を歩んでし が示される。

出エジプトの民を主は

た。 「聖なる神の民」として

神は喜び、愛し支えられ 選ばれ、「わたしの宝」と しかし、聖なる民の歴

教

信頼するか」、「主が建て

れとの戦いがあり、「神を

になった。日々不安や恐

主が建てられた教会を信じる

別府不老町教会

熊本・大分地震被災教会のクリスマス

れ、支えられている幸い

た。



上〓2017年クリスマス石〓完成間近の新会堂

のだった。改めて、祈ら 見出すことができないも れば、復興の道筋は到底 れみと皆様の支援がなけ 心より感謝する。主の憐 に祈り、支えくださり、 た緒教会の復興のため 熊本地震によって被災 られた教会を信じるか」 る神と主の教会は私たち きのための資金繰りに頭 の信頼に応えてくださっ を悩ませていたが、主な なった。 が大きく問われることと 資金が足りなかったと

まったく立っていないな **追しを決議して歩んでき** なくなり、礼拝堂の建て 教会は礼拝堂が使用でき ておらず、

資金の

目途が に建築の借入金も完済し た。

しかし、

以前に

行っ と喜びを心に刻むもので 震災以後、別府不老町 興への前途が開けた。た の拠出を迅速に承認くだ だ感謝あるのみである。 さったことで、大きく復 Ŋ りをもって配慮くださ 会、教団伝道委員会が祈 団の会堂等復興支援委員 九州教区の執行部、教 復興支援金や借入金

一旧礼拝堂を見たときは、 組んでいる。 がり、内部の工事に取り 拝堂の外観はほぼ出来上 12月現在の時点で新礼 除却される 感謝申し上げる。 を、まずこの場を借りて 金が献げられていること 金が展開され、

かで、計画を進めること

ローマ兵に痛めつけられ た主イエスの御体を想起 させられ、涙が出た。し かし、新しい会堂が建ち一祝うこの時に、死と復活

上がっていく姿に、復活 の新しい朝の喜びを予感 している。クリスマスを

ストの聖なる愛を思いめ ぐらしている。 今後、長らく借入金の

り」の信仰をもって、主 ないが、「主の山に備えあ 返済を担わなくてはなら

新たにしてくださるキリ をもって私たちの歴史を たい。 のご計画に仕えていく所 存である。 支援に深甚の感謝を表し 改めて、皆様の祈りと

下=十字架を掲げるの

マス

町教会牧師) (齋藤真行報/ / 別府不老

諸教会の祈りの結実

る被災教会会堂等再建募 ち早く日本基督教団によ な被害をもたらした。い 連の熊本地震は、熊本、 の震度7を中心とする一 大分両県にまたがり甚大 日にかけて発生した2回 2016年4月**1**4~16 多くの献 る。業者の不足、資材の ばというのが現状であ 年となるが、被災地にあ くださるようお願い申し き被災地を覚えて祈って 思われる。どうか引き続 高騰等の影響も大きいと る教会の再建はなお道半 の決断に至った次第であ

7年2月、隈府教会は新 会堂の建築を決議した。 そういう中で、201 る。

化の問題があったが、 安全な礼拝の場所を確保 まもり続けており、その を受けた。それでも毎週 10名前後の会衆が礼拝を 判定では「中破」の診断 震による被害も甚大で、 するためにも祈りつつこ 専門家による被災度区分

震災から間もなく丸2 | すでに築80年以上と老朽 | 頼、9月に着工、12月に 早速、地元の業者に依

地

柱を加工して据えた。昨 は、その歴史と苦労を忘 年のクリスマスは、新 れないため、旧会堂の床 礼拝堂正面の十字架

| うことができた。 クリス い会堂で感謝のうちに祝

る。 る落ち着いた作りであ

隈府教会

が、木のぬくもりを感じ 運びになった。礼拝堂だ

は完成、引き渡しという けの小さな会堂である

結実である。 った全国諸教会の祈りの 災地を覚え祈ってくださ であるが、この会堂も被

スト教会の伝統に立ち、 **隈府教会は、旧メソジ**

Y スは神さまの愛の結実

今年2018年には伝道

開始120周年を迎え

期待している。 ます進展していくことを この地域への伝道がます 礼拝堂が整備されて、

|牧師〈代務〉) (川島直道報/隈府教会

新会堂にてクリスマス礼拝を祝う 由布院教会

| 得ることができた。

加した。子どもたちとい

員そして保育園の職員と を心から喜びつつ、教会 スマスに間に合ったこと 感謝に満たされた。クリ 多少戸惑いもあったが、 不慣れなところがあって 捧げる礼拝は、 渡しを受けた。新会堂で 年11月に工事完了にて引 きたが、ついに2017 会堂の再建に取り組んで 2016年の地震以来 | 会が行われた。 たくさん いろいろ だった。 くて快適である、と好評 もいたが、新会堂は明る を披露した。立ち見の方 どもたちが元気いっぱい の保護者の見守る中、子 歌や踊りやページェント

もにクリスマスの準備に 愛保育園のクリスマス祝 12月16日には隣接の聖 師の佐藤孝義先生に説教 ス礼拝を祝った。隠退教 餐の恵みを味わう幸いを った。力強い説教の言葉 た。新会堂で初めての聖 ・聖餐の奉仕をしてもら に会堂建築の労が癒され 12月24日は、クリスマ

クラブの小学生たちが参 園の卒園児、地元の児童 われた。大人と子ども合 かな雰囲気に満たされて が与えられた。聖愛保育 わせて109名の参加者 会学校クリスマス会が行 にすることができた。 御子の誕生の喜びをとも その翌日25日には、教

職員に加えて町の人たち った。教会員・保育園の の参加があった。おごそ マス・イブ燭火礼拝を祝 その日の夜に、クリス みな満足そうな様子で帰 後、ゲームを楽しんだ。 っしょに礼拝を捧げた っていった。

変であったが、これも、 室を間借りして行った。

神様の導きと、皆様の祈 のクリスマスは、やはり 過ごすことのできた今年 それと比べて、新会堂で る。ここまで来るのは大 充実していたと感じられ クリスマスは、保育園の 室や地元の社協の会議 一昨年、2016年の である。心から感謝する ものである。 りと多大な支援のおかげ (黒田恭介報)





上=新会堂と隣接する聖愛保育園外観 下= **2017** 年教会学校クリスマス





2018年1月27日

北海教区

久世そらち

連帯」の宣教的意義

でいる。

しかし、

政難に悩ん の不在、財

はいない。孤独ではない。孤

私たちは決して見捨てられて

牧師招聘が困難で牧師のいな

い教会が増えている。

援するようにした。

た。ところが近年はそれでも 定住できるよう祈り支えてき

立していない。ひとりではな

教会は代務者をおく必要があ

(3)

て悩んでいるのだ。隣人と共 に担う苦難を恥じることはな

意義がそこにある。

北海教区は長年にわたり

足した。牧師のいない教会が

の礼拝を支える」しくみが発 に「主任担任教師不在の教会

が

地域の希望ともなるのだ。

地域の課題を共に負っ

題を抱えている。教

化、人口減、 齢化、少子 街もまた高 教会が立つ

経済不振と

と困難を分ちあう交わりがあ そして共に生き、悩み、重荷

い。共におられる方がいる。

るが、代務をつとめてくれる

た。

牧師さえ近隣には見あたらな

いケースも出てきた。

今年度、北海教区では新た

とが具体的に示されること

る。北海教区の諸教会がつち

かってきた「連帯」の宣教的

半数以上が会員数33名以下の

北海教区の教会・伝道所の

1

胸をはって苦しもう。

苦悩する地域に教会が証し

て地方小規模教会にも牧師が

「教職謝儀保障」を充実させ

費、代務者への謝礼、さらに、遠方から説教者を迎える経

「小規模教会」である。いず

会員減、若年層

におられる」ということだ。 できるメッセージは、「神は共 報

16 教区議長出席にて開催

教

(第三種郵便物認可)

教区 教区議長会議 議長が集い日本伝道について話し合う

縄教区議長は欠席)で、 教団伝道対策検討委員3 教団三役•16教区議長(沖 を開催した。出席者は、 第2回目の教区議長会議 ピア熱海にて、今総会期 12月11~12日、ハート 団幹事4名が陪席した。

名、予算決算委員長、教 したものである。 ることを目的として開催 れの現状と課題を共有す 互いに聞き合い、それぞ 教区議長会議に続き、各 教区での伝道の取組みを これは、6月の第1回

長)の後、伝道対策検討 委員会報告として、同委 が設置した教団機構・財 雲然俊美書記、同委員会 政検討小委員会での検討 員会の検討内容について の小西望書記が報告 内容について同小委員会 開会礼拝(石橋秀雄議 報告の後、教団にお

で、各教区からの報告の 時間をもった。各教区に 等々の協議をした。 その後、1日目の夜ま

か、伝道対策検討委員会 念とは何か、小規模教会 をしようとしているのか に対してどのような支援 で審議している伝道の概

支える具体的な取り組み もって教区運営を進めて をしていること、教区と 状の中で、小規模教会を て、中長期的な見通しを しての宣教基本方針を立 洗者数の減少といった現

り、資料による丁寧な報 現状および課題と対応に いては、教勢の低下や受 告がなされた。報告にお ついての報告を依頼して おける伝道の取り組みと 対しては事前に、 出席した全教区よ 教区に よって異なる様々な伝道 の状況を聞き合った。 があることなど、教区に を担おうとしている教区 おける多様な宣教の課題 を定めないで、自教区に 区としての宣教基本方針 いる教区がある一方、教 2日目は、祈祷会の後、

道ということで何をどの 道資金の活用と課題、伝中での宣教のあり方、伝 全体協議の時間をもっ 方の町々が衰退している た。協議においては、地 いがなされた。

である、少子高齢化・長 るのか、献金運動という ことにおいても教団がど り方等々、活発な話し合 寿社会における伝道の 教区・教団の連携が大切 が問われている、教会・ の方向を向いているのか ように伝えようとしてい

木美知夫副議長) 最後に閉会礼拝 をもっ 佐々

(雲然俊美報

信仰職制委員会

式文」改訂について協議

記を代行した。 会議室にて開催された。 が、12月4~5日に教団 武田真治書記欠席のた 第3回信仰職制委員会 田邊由紀夫委員が書 | て答申を求められた諮問 担当幹事から、「キリスト はなかったが、道家紀一

今回、当委員会に対し | 名簿の登録について」の おける位置・処遇につい 教教育主事の関係施設に て」と「在外教師の教区

に取り組んだ。

の上、委員会としての見 解を答えた。 問い合わせがあり、 続いて以下の研究課題 協議

の問題点について」-藤 ①「『現行教規、諸規則』

という北海教区の「格言」が「倒れるときはみんな一緒」 ある。それほどまでの絆と愛 教者を迎える経費を教区が支 牧師が他教会の代務の働きの ために不在となる際に他の説 意見はほとんど聞かれなかっ も、支援への消極的・懐疑的 れ、諸教会で審議する過程で この新たな支援が提起さ ②礼拝式文の他にも重要 くか今後検討していく。 どこでどのようにしてい の研究が必須であるが、 組むためには「礼拝指針 した。①式文改訂に取り して、以下の方向性を出

り組んでいく。 る。 式文を整え、指針を出し いく「准允」「按手礼」の 礼」式文、教師を立てて ていくことが急務であ 先ずはその研究に取 信徒を生み出す「洗

員会委員長に同席しても I、Ⅱ)の作成に携わっ として、『式文』(試用版 -一との件を検討する前提 あり協議した。石橋秀雄 盛勇紀委員長より発題が た岡本知之前信仰職制委 の取り扱いについて検討 教団議長に報告し、今後 してもらうことにした。 ②「式文改訂について」

る礼拝指針の位置づけに らい、試用版『礼拝式文』 た。質疑応答の上、協議 ついて、詳しく話を聞い 作成の経緯と教団におけ 東部教会を牧会し、関西 学科卒業。同年より神戸 城﨑昤子さん。 まで務める。遺族は妻・ 学院、神戸女学院に2年 中国(青島市)生ま 50年関西学院大学神

杉山謙治氏(隠退教師)

業。同年より富来、羽咋、 東京神学大学大学院卒 歳。静岡県生まれ。56年 族は息・杉山牧夫さん。 を牧会し、14年隠退。遺 17年11月4日逝去、 小阪、西九条教会









加藤喜雄氏(隠退教師) 東京聖書学校卒業。同年 歳。東京都生まれ。 は息・花島宣人さん。 シオン教会を牧会。遺族 ,教会主任担任教師) 17年11月18日逝去、81



正教師登録

歳。東京都生まれ。61年 日本聖書神学校卒業。 17年12月7日逝去、80 同

花島順 郎氏 (東京シオ



東京 62 年 ◎問合せ

事務局報

柳本伸良、友野富美子 和田芳子、田所慈郎、 松木田優、佐藤志伸、 後藤真英、馬場勇樹 (2017-11-26受按)

「統一原理、カルト問題相談会」 開催のお知らせ

◎場所 ◎日時 2018年2月2日(金) 日本キリスト教会館4階 午後1時~2時3分

東京教区事務所 (EU03-3203-4270)

を牧会し、00年隠退。遺 年より軽井沢、江東教会 族は妻・加藤貴美子さん。 二進 (2017-12-4受按) (2017-12-5受按) 雅乃、蜂屋博寿、

富山希望、土肥研一、 佐藤 愛 (2017-12-10受按)

百齿真由美 (2017-12-16受按)

就(代)久世そらち 就(担)菅野正夫 辞(主)大庭康男

クリスチャントゥ デイなど張在亨牧師グループに関する声明

デイに対する疑惑が解 を持たないことを宣言 日本基督教団は20 した。 消されるまで、クリスチャントゥデイと一切の関係 08年6月、議長声明において、クリスチャントゥ

教教職者を名誉毀損で提訴した。この民事訴訟の2013年11月判決にお クリスチャントゥデイを含む多数の関連団体・教会が張在亭牧師の影響下 いて、この教職者の表現の一部に適切でない部分があったとされる一方で、 にある一体的なものであったことが明らかにされた。 2008年4月に、 クリスチャントゥデイは、疑惑を指摘したキリスト

仕向けられたり、人事指示を受けて過酷な集団生活や無償労働をさせられ の活動を維持するため トであるとの信仰に誘導する聖書講義が行われていた事実や、団体・教会 ていた事実などについて そして今年、かつて同グループ内において、張在亨牧師は来臨のキリス 、メンバーが消費者金融から借り入れをするように て、複数の脱会者から証言を得た。

ト教界に多大な影響を及ぼしていることを、深刻に憂慮せざるを得ない。 一プに対して、キリスト教として同一の線に立つことは出来ないとの判断 ゆえに日本基督教団は、クリスチャントゥデイなど張在亨牧師関係グル このような事実があるにもかかわらず、現在のクリスチャントゥデイに 、多数のキリスト教教職者等が取材を受けるなど関係しており、キリス 2018年1月27日

日本基督教団総会議長 石橋秀雄 修繕を始めて

る教会として、これからも主と

〈2016年実施校〉敬

業は前進する。

りました。 がいたんでお レ、天井など ら壁やトイ 先輩方の卒業式に出席していま 京神学大学で執り行われていた

2011年3月11日、私は東

教

報 告

七十二人は喜んで帰って来て、こう 言った。…イエスは言われた。「あなた がたの名が天に書き記されているこ とを喜びなさい。」 ルカによる福音書第10章17節~20節

「受けるよりは与える」教会へ

関東教区·原市教会牧師

關橋

すべてとまり、自宅か ました。当時の学長で 覚えました。仙台に住 あった近藤勝彦牧師の 生たちと一緒に見てい れる式の様子を他の学 室に設置されたプロジ 係者で埋め尽くされて 拝堂は卒業生とその関 む親戚から電気・ガス・ はないかという恐怖を 式辞が始まってしばら 水道などのインフラが rに落ちてしまうので に襲われ、床が抜けて ェクター越しに中継さ いたので、2階の大教 くすると、激しい揺れ

も被害が出ました。 ら59年を経た原市教会の会堂に 度5弱の地震によって、献堂か ある群馬の地にも押し寄せ、 激しい揺れは、北関東の内陸に たのは震災の2日後でした。 東京で私が恐怖を覚えたあの ら避難していると知っ

東日本大震災 造りの重厚な が起こる前か て建設された ス御自身が『受けるよりは与え を助けるように、また、主イエ 献金を献げていきます。「あなた る教会や被災者を覚えて祈り、 も、災害などによって困難にあ 害などの被災地支援のために献 る方が幸いである』と言われた がたもこのように働いて弱い者 けてきました。そしてこれから **入震災、熊本地震、広島土砂災** 言葉を思い出すように」(使徒言 人マス献金、教会バザーの収益、 一スター献金の一部を東日本

建物ですが、

コンクリー

びかけたところ、幸いにも早く そして天井がますます傷みまし 感謝を申し上げます。 献金してくださった皆様に深く 金より援助していただきまし 300万円を教団被災教会支援 教団から被災教会と認定され、 で400万円を目標に募金を呼 いることを決め、さらに教会内 教会の維持のために積立ててい 大規模な修繕を決定しました。 壁の補修とトイレの改修という 約1500万円をかけて天井や を受け、役員会で議論を重ね、 井の修繕が急を要するとの報告 が入りました。鑑定の結果、天 た。壁にもあちらこちらにひび 小礼拝堂が潰れ、トイレ、 た。被災地の教会を覚えて祈り、 た基本金から約800万円を用 に目標額に達しました。また、 地震によって教会学校を行う

また2016年10月9日には創 立130周年記念礼拝が行われ 4年に新しく牧師を招聘した際 に就任式が執り行われました。 修繕を終えた会堂では201

として1886年に創立され、

現在の会堂は

1952年に

れました。清 完成・献堂さ

水建設によっ

原市教会は安中教会の枝教会

原市教会では震災以降もクリ

襲われました。 東日本大震災による強い揺れに

賢

した。式が行われる礼

係学校協議会という名称 学校で構成する協議会で だったが、旧CoC(内 ある。かつてはCoC関 教協力会) 諸教会から宣 の旧JNAC(日・北米宣 は、これまで北米・英国 により2007年に改称 教師を受け入れてきた諸 宣教協力学校協議会 宣教師不在校での出張礼拝

暮修也運営委員長(明治 宣教師不在にもかかわら る。残りの3分の2は、 在、宣教師がいる学校は 校にも協議会加盟のメリ 学院院長)を中心に何度 ず同協議会を支え続けて 全体の3分の1に留ま 加盟校は40校あるが、現 見出すこととした。 も話し合い、宣教師不在 協議会運営委員会は、 する加盟校が現れる中、 いる。脱退の意向を表明 ットを感じられる働きを 宣教協力学校協議会の ッフが同行した。

説教を行う提案があっ 校に実施日を割り出して た。対象校を同協議会の トを教団事務局が行っ 同協議会、コーディネー た。こうしてプロジェク 宣教師不在校で宣教師が てもらえる宣教師を探し 連営委員会が選び、対象 4が動き出した。 主催は 昨年の運営委員会で、 宣教協力学校協議会主催

愛高校―クルマン宣教 美林高等学校―ウミピグ 師。東洋英和中学・高校 7年実施校〉とわの森三 =シェロ宣教師。〈201 宣教師。山梨英和中学校 短大=メンセンディーク 大阪女学院中学、大学・ 宣教師。新島学園高等学 =ウェーラー宣教師。 ・ジュリアン宣教師。清

受け持った方々もいた。 寮に宿泊して生徒と交流 学・高校―ノリス宣教師。 各訪問に教団事務局スタ 訪問の依頼をもらった。 きた。多くの学校から再 喜びを共にすることがで き入り、宣教師も生徒も を生み、生徒は説教に聞 宣教師との出会いは共感 れ宣教師)。福岡女学院中 宣教師(KCCJ受け入 教学園高等学校—金鐘賢 したり、説教後に授業を 宣教師の中には、学生

どで不在となって10年以 係構築、関係回復を通し 校も現れている。信頼関 師新規派遣を希望する学 た学校の中からは、宣教 関係が回復した。訪問し 務局から同行することで る。しかし今回、教団事 との連絡は途切れてい 教師不在校と教団事務局 上経っている。当然、宣 宣教師不在校のほとん

本州最西端の町、下関は、

にめ上京するも、キリスト教 ィリピ3・13)。 卒業後は後ろ に残る。「後ろのものを忘れ 伊藤さんは、地元のミッシ かし、主は、伊藤さんを忘

のものを忘れた。美大進学の 前のものに全身を向けよ」(フ が繰り返した聖句が、今も耳 当時の恩師、詩人の森田進氏 進学し、キリスト教に出会う ョンスクール、梅光女学院に

ぎ、ギャラリー喫茶を営んで いる。 の船舶が往来したこの下関の 祖父の代からの骨董店を継 中心街で、伊藤由紀子さんは、 州、門司港が望める。国内外 関門海峡を挟んで眼前に九

桜

る。当時16歳 という呻き声がした。身体に り、夢中で惨状から山へと逃 気づくと蓮畑の中に倒れてお から2キロ地点で被爆した。 物疎開に向 紆余曲折あ 見ると自分の肩から煙が出て れる。逃げ出 ときには、 が向いた。就職し、病を得、 いた。川の方から「アイゴー」 女学院OG (頭) にあ かう途中、爆心地 成だった母は、建 の憩いの場だ。 す時に異臭がし、

地元に帰ると、ふと教会へ足 藤さんの店は、常連客や梅光 れなかった。 伊藤さんは、被爆二世であ 洗礼の水がここ たが、「気づいた た」と笑う。伊 美大を卒業して

のトラウマから被爆の映像を

身を向け」た。結婚には被爆 多くの人々の中で生き続け、 見ることはなかった。 消えず、出産の度に子の健康 た。ひたすら「前のものに全 ち明けると離れ去る人もい 時間をかけなければわからな い。被爆二世であることを打 に不安を抱いた。この不安は へれられたが、「自分の中に悪 いものがある」という感覚は 一世であることを告げ、受け 被爆影響の有無は、人生の

々しい被爆体験を 映像には現れない、見えざる る。原発や核実験の報道の中、 また新たに生み出されてい と伊藤さんは語り、祈る。 不安を負う人々と連帯したい

hallhehthallhehthallhehta

さんに、生

然の姿である。しかし僅かな寒 折々の庭の風景として見れば当 芽を出している植物がある。 揺らしているものもある。 四季 蒼々とした葉を冷たい風の中に く見ればあちこちに、蕾をつけ て咲き始めている草花がある。 寒さの時、教会の庭で土から ょ

り、神様の為さることは本当に 堅い花芽や新芽をつけている。 う。もちろん葉を落とした木々 素晴らしい』と、あらためて思 つ一つが不思議な光景であ

の贖いへと私たちを導き、飼い を祝い、やがてレントへと向か 葉桶のキリスト う。クリスマスの喜びは十字架 教会はこの季節、主の御降誕 はその命の温も ひ歌う

けて使命に生きる喜びである。

さに震えている私からすれば、

たちの中を歩んでくださった。 命に生かし、神の国の住人とす れるのである。 りで私たちの存 教会はこの救力 るために主イエ スは来られ、私 主を宣べ伝え、 私たちを復活の 在に力を与えら (教団総会副議長

もある。しかし、教会はその嵐 主の救いにあずかった喜び、主 世の人々に仕えて、主を証して の中で、喜びを歌い続けてきた。 中で身動きが取れないような時 返し襲っている。厳しい現実の いく。その旅路には困難が繰り と共に歩む喜び、主の再臨に向

みながら、神の御業を見せて頂 む。教会も堅い信仰の年輪を刻 す木々は堅い年輪をその身に刻 き、共に働く時を過ごしたい。 この季節、将来への備えを為 佐々木美知夫)



伊藤由紀子さん

二世として 連帯を生きる



ギャラリー喫茶「ギャラリ 茶々」店主。 下関教会員。